

# このへ 議会だより

Gonoh Assembly News

議会広報

平成24年5月 第2・3号(合併号)

新議員の紹介(第1回臨時会 平成24年3月臨時会) … 2	平成24年度当初予算 …………… 12
委員会名簿 …………… 3	第34回定例会(平成23年12月定例会) …………… 13
一部事務組合議会議員 …………… 3	一般質問 …………… 15
議長就任あいさつ …………… 3	第33回臨時会(平成23年11月臨時会) …………… 19
第2回定例会(平成24年3月定例会) …………… 4	第35回臨時会(平成24年1月臨時会) …………… 19
五戸町議会活性化検討委員会 …………… 7	常任委員会活動報告 …………… 19
新たな五戸町議会活性化検討委員会発足 …… 7	自治功労者表彰 …………… 19
一般質問 …………… 8	議会傍聴者アンケート結果 …………… 20
平成24年度予算審査 …………… 11	編集後記 …………… 20

## 新五戸町議会議員



# 新議員の紹介

第1回臨時会が平成24年3月2日に行われ、新議長、新副議長及び各常任委員会の委員等が決定しました。定数は18人。任期は、平成24年2月29日から平成28年2月28日までです。

(議席番号順)○の数字は当選回数

副議長  
民生常任委員会 委員



2番 ③  
おおさわひろし  
大沢博

議長  
経済常任委員会 委員



1番 ③  
わだかんじ  
和田寛司

経済常任委員会 委員  
広報常任委員会 委員長



5番 ②  
ねもりたかお  
根森隆雄

総務常任委員会 委員  
広報常任委員会 副委員長



4番 ②  
たかやまこうじ  
高山浩司

民生常任委員会 副委員長  
広報常任委員会 委員



3番 ①  
おおくほひとし  
大久保均

総務常任委員会 委員長  
広報常任委員会 委員  
議会運営委員会 委員



8番 ③  
わかみやけいち  
若宮佳一

総務常任委員会 副委員長  
十和田地区環境整備事務組合 議員



7番 ③  
かわさきななみ  
川崎七保

経済常任委員会 委員長  
広報常任委員会 委員  
議会運営委員会 委員  
田子高原広域事務組合議会 議員



6番 ②  
すずきしげもり  
鈴木繁盛

民生常任委員会 委員  
田子高原広域事務組合議会 議員




11番 ④  
かわむらひろあき  
川村浩昭

総務常任委員会 委員  
八戸地域広域市町村圏事務組合 議員




10番 ③  
まつやまやすはる  
松山泰治

民生常任委員会 委員  
監査委員



9番 ③  
おがたひろゆき  
尾形裕之

民生常任委員会 委員  
広報常任委員会 委員  
議会運営委員会 委員長



14番 ⑤  
みうらせんじろう  
三浦専治郎

経済常任委員会 委員  
十和田地域広域事務組合 議員



13番 ④  
ふるたみつお  
古田陸夫

民生常任委員会 委員長  
広報常任委員会 委員  
議会運営委員会 委員



12番 ④  
さわだりょういち  
沢田良一



経済常任委員会 副委員長  
議会運営委員会 副委員長  
15番 ⑥  
中川原賢治



総務常任委員会 委員  
16番 ⑥  
中里公志郎



総務常任委員会 委員  
議会運営委員会 委員  
17番 ⑥  
柏田雅俊



経済常任委員会 委員  
18番 ⑧  
浦俊哉

## 委員会名簿

当町議会では、4つの常任委員会と議会運営委員会が設置されています。

各委員会の任期は2年です。

### 総務常任委員会（6人）

総務、税務、教育及び選挙

に関する事務並びに他の常任委員会との所管に属しない事務。

- 委員長 若宮 佳一
- 副委員長 川崎 七保
- 委員 高山 浩司
- 委員 松山 泰治
- 委員 中里 公志郎
- 委員 柏田 雅俊

### 経済常任委員会（6人）

産業経済、土木建設に関する事務。

- 委員長 鈴木 繁盛
- 副委員長 中川原 賢治
- 委員 根森 隆雄
- 委員 和田 寛司
- 委員 古田 陸夫
- 委員 三浦 俊哉

### 民生常任委員会（6人）

社会福祉、消防、上下水道、総合病院、国民健康保険、

高齢者医療及び介護保険に関する事務。

- 委員長 沢田 良一
- 副委員長 大久保 均
- 委員 尾形 裕之
- 委員 大沢 博
- 委員 川村 浩昭
- 委員 三浦 専治郎

### 広報常任委員会（7人）

議会の広報に関すること。

- 委員長 根森 隆雄
- 副委員長 高山 浩司
- 委員 大久保 均
- 委員 鈴木 繁盛
- 委員 若宮 佳一
- 委員 沢田 良一
- 委員 三浦 専治郎

### 議会運営委員会（6人）

議会の会期や議会運営、議長との諮問事項などについて協議。

- 委員長 三浦 専治郎
- 副委員長 中川原 賢治
- 委員 鈴木 繁盛
- 委員 若宮 佳一
- 委員 沢田 良一
- 委員 柏田 雅俊

## 一部事務組合議会議員

### 八戸地域広域市町村圏事務組合（1人）

- 議員 松山 泰治

### 十和田地区環境整備事務組合（1人）

- 議員 川崎 七保

### 田子高原広域事務組合（2人）

- 議員 鈴木 繁盛
- 議員 川村 浩昭

### 十和田地域広域事務組合（1人）

- 議員 古田 陸夫

## 議員選出監査委員

- 委員 尾形 裕之



## 議長就任あいさつ

議長 和田 寛司

このたび五戸町議会議員の皆さまのご推挙により議長に就任いたしました。

地域主権改革の推進が示され、自治体には自由と責任への転換が求められており、今までの依存体質を改め、自助・共助・公助を意識し、住民・行政・議会が共働して主体性や独自性をもった五戸町のあるべき姿、将来像をきっちり住民に示さなければなりません。

議会議員の役割は様々な住民の意見を吸収し、議会の場で議論、討論することが肝要であります。そのためにも、町民に情報を伝え、意見を聞き、情報を共有してお互いを理解しあい、共働するため、議会議員として全力を尽くす所存でございます。

町民の皆さまにおかれましては、より一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願いし、議長就任のご挨拶といたします。



# 第2回 定例会 平成24年3月定例会

## 平成24年度当初予算可決

### 一般会計99億2446万3千円

3月定例会は、3月9日から16日までの8日間の会期で開催しました。  
町長から条例11件、補正予算8件、当初予算10件、規約の変更等6件の計35件及び議会から1件の案件と陳情4件が提出されました。

#### 町長提出案件

議案及び議案の内容	審議の結果	大沢博	大久保均	高山浩司	根森隆雄	鈴木繁盛	川崎七保	若宮佳一	尾形裕之	松山泰治	川村浩昭	沢田良一	古田陸夫	三浦專治郎	中川原賢治	中里公志郎	柏田雅俊	三浦俊哉
五戸町ケーブルテレビ事業基金条例 ・基金を新設	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
五戸町水道条例 ・水道法の一部改正に伴う条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長等の給与の特例に関する条例等の一部改正 ・町長、副町長及び教育長の給与の減額期間を平成25年3月31日まで延長	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
外国語指導員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正 ・外国青年招致事業における報酬額の変更に伴い報酬を減額	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
五戸町病院事業の設置等に関する条例の一部改正 ・地方公営企業法の一部改正に伴う資本剰余金に関する改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
五戸町介護保険条例の一部改正 ・保険料率の増額	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
五戸町道路占用料徴収条例の一部改正 ・道路占用料の減額	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町営住宅条例の一部改正 ・公営住宅法の一部改正に伴う入居資格の改正 ・熊ノ沢団地の削除	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
五戸町都市公園条例の一部改正 ・ひばり野公園サッカー場の人工芝生化に伴うサッカー場の使用料金を増額	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
倉石スポーツセンター設置条例の一部改正 ・シャワールームの廃止	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議案及び議案の内容	審議の結果	大沢博	大久保均	高山浩司	根森隆雄	鈴木繁盛	川崎七保	若宮佳一	尾形裕之	松山泰治	川村浩昭	沢田良一	古田陸夫	三浦專治郎	中川原賢治	中里公志郎	柏田雅俊	三浦俊哉
五戸町肉用牛特別導入事業基金条例の廃止 ・五戸町肉用牛特別導入事業の廃止に伴う基金条例の廃止	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
青森県新産業都市建設事業団に委託すべき事業に関する計画の一部変更に係る協議 ・五戸町の負担額18万6千円	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の減少及び青森県市町村総合事務組合同約の変更 ・公立金木病院の脱退	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
青森県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体数の増減及び青森県市町村職員退職手当組合同約の変更 ・公立金木病院の脱退及びつがる西北五広域連合の加入	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
五戸町過疎地域自立促進計画の一部変更 ・倉石地区の小学校統廃合に関する変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町道の路線の認定 ・11路線を町道に認定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事請負契約の一部変更 ・川内中学校耐震補強工事の契約額を増額	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成23年度補正予算																		
一般会計補正予算（第8号） 1109万5千円を増額 主な増額 ・上市川小学校耐震補強工事管理業務委託料及び工事費 1億194万5千円 主な減額 ・畜産担い手育成総合整備事業工事業務委託料 2308万1千円 ・住宅建設等工事費 1068万8千円	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号） 695万9千円増額 ・一般会計繰出金	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国民健康保険特別会計補正予算（第4号） 8819万2千円増額 ・一般被保険者療養給付費ほか	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議案及び議案の内容	審議の結果	大沢博	大久保均	高山浩司	根森隆雄	鈴木繁盛	川崎七保	若宮佳一	尾形裕之	松山泰治	川村浩昭	沢田良一	古田陸夫	三浦專治郎	中川原賢治	中里公志郎	柏田雅俊	三浦俊哉
介護保険特別会計補正予算（第4号） 290万1千円減額	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
下水道事業特別会計補正予算（第3号） 48万2千円減額	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
簡易水道事業特別会計（第4号） 6万円増額	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ケーブルテレビ事業特別会計（第1号） 1009万2千円増額 ・ケーブルテレビ移行事業費補助金ほか	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
病院事業会計補正予算（第3号） 収益的収入 412万1千円増額 収益的支出 307万9千円減額 資本的収入 641万円減額 資本的支出 518万8千円減額	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度当初予算																		
一般会計予算 99億2446万3千円	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
後期高齢者医療特別会計 4億809万2千円	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国民健康保険特別会計 24億1581万円	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
介護保険特別会計 20億8434万1千円	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
下水道事業特別会計 4億4797万9千円	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
農業集落排水処理施設事業特別会計 1億1642万8千円	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
簡易水道事業特別会計 9451万8千円	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
住宅用地造成事業等特別会計 2512万4千円	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ケーブルテレビ事業特別会計 2227万6千円	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
病院事業会計予算 収益的収入 26億4928万3千円 収益的支出 28億8756万7千円 資本的収入 2億330万7千円 資本的支出 3億250万2千円	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
●和田寛司議長は採決に加わらない ○は賛成 ×は反対 欠は欠席																		

議会提出案件

議案及び議案の内容	審議の結果	大沢博	大久保均	高山浩司	根森隆雄	鈴木繁盛	川崎七保	若宮佳一	尾形裕之	松山泰治	川村浩昭	沢田良一	古田陸夫	三浦專治郎	中川原賢治	中里公志郎	柏田雅俊	三浦俊哉
<b>TPPへの参加反対を求める意見書</b> ・「TPPへの参加に向けて関係各国との協議に入る」とした方針を撤回し、TPP参加に向けた協議を中止することを内閣総理大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、厚生労働大臣へ提出。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
●和田寛司議長は採決に加わらない ○は賛成 ×は反対 欠は欠席																		

陳情

件名	審査の結果	大沢博	大久保均	高山浩司	根森隆雄	鈴木繁盛	川崎七保	若宮佳一	尾形裕之	松山泰治	川村浩昭	沢田良一	古田陸夫	三浦專治郎	中川原賢治	中里公志郎	柏田雅俊	三浦俊哉
<b>TPPへの参加反対を求める意見書</b> ・「TPPへの参加に向けて関係各国との協議に入る」とした方針を撤回し、TPP参加に向けた協議を中止することを内閣総理大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、厚生労働大臣へ提出。	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
●和田寛司議長は採決に加わらない ○は賛成 ×は反対 欠は欠席																		



和田委員長から中里議長へ答申

**五戸町議会活性化検討委員会**  
 平成23年12月13日  
 議長へ答申  
 議長の諮問機関であり議員9名からなる議会活性化検討委員会では、平成23年4月からこれまで6回にわたり、「いま できることは 何か」①開かれた議会に向けての方策②活気に満ちた町を創造するための提案③そのほか議会の活性化について協議を行ってきました。  
 すでに、議会広報の発行、特別委員会の一般公開は実施されましたが、今回、任期最後の委員会としてこれまで検討・提案してきた事項を議長へ答申いたしました。

**五戸町議会活性化検討委員会**  
 平成23年12月13日  
 議長へ答申

- 委員長 三浦 專治郎
- 副委員長 沢田 良一
- 委員 鈴木 繁盛
- 委員 若宮 佳一
- 委員 松山 泰治
- 委員 古田 陸夫
- 委員 中川原 賢治

和田寛司議長から3月16日付で委嘱書が交付され、新たな五戸町議会活性化検討委員会が設置されました。  
 前活性化検討委員会の答申内容をふまえ、町民に親しみやすい町議会を実現するため調査、研究及び協議を行います。

**新たな五戸町議会活性化検討委員会 発足**

- 答申された主な内容**
- ・議員定数に関すること
  - ・住民との話し合い（議会報告会）
  - ・選挙広報の発行に関すること
  - ・一般質問における一問一答方式について

# 平成24年3月定例会

## 一般質問

### 川崎七保議員



### 五戸総合病院の再建は

#### 質問

五戸総合病院は建て替えにより莫大な負債が残っているようだが、根本的な問題があるのではないか。これについて、町長の考えは。

#### 三浦町長答弁

五戸総合病院の収入減の大きな要因として、①病床利用率の低迷②急性期患者の減少③外来新患者数の減少④平均在院日数の確保の困難が考えられる。

その対策として、病院トップのリーダーシップのもとに病院の運営についてその意識を全職員が共有し、連帯感を持ちながらさらに経営感覚を身につけ、病院各職場のチームワークが一番大切だと思う。また、新たな対策として、コミュニティバスの運行を計画しており、さまざまな対策を講じながら経営健全化に邁進したいと考えている。

### 五戸町の産業は

#### 質問

いまや五戸町は県内40市町村のうち、人口では上位ではあるが産業力では中ほどから下にいるようだ。これはトップセールスである町長の責任もあるのではと思うが、どう考えるか。

#### 三浦町長答弁

五戸町の産業、特に農業は町の基幹産業である。地域農業は過疎化、農業従事者の高齢化が進む中で、若い世代の新規就農者が減少し

ているなど、地域の活力が低下している状況にあり、また、耕作放棄により荒れた農地が多く目につくようになってきている。24年度中には県等の支援を受けながら、集落営農推進対策本部を町に設置し、組織経営体の育成に向け検討していく。

また、地元商品の開発、ブランド化を推進するためにはそれぞれの団体が個別に行動するよりも、各団体が連携し、団結をして五戸ブランドを立ち上げられないものかと考えており、町としてもできる限りの支援をしていく。

### 町を活性化させる

### ためには

#### 質問

町に活力がないという話は町じゅうでうわさされているところだが、行政は絶え間なく前進していかなければならぬ宿命を背負っているのではないかと、町長はいかに考えるか。

#### 三浦町長答弁

八戸圏域定住自立圏構想において、八戸市を中心としたこの八戸地域全体として町の振興を図っていきたい。

### 若宮佳一議員



### 投票率について

#### 質問

平成23年度は統一地方選挙の年であったが、一連の選挙（県議会議員・町長・青森県知事・五戸町議会議員）の投票率についてどういった感想をお持ちか。

#### 金澤選挙管理委員長答弁

全国的に投票率が下降している中で政治に対する不信あるいは無関心、当町において

は高齢化が進み投票できない立場の人たちもふえていると考える。町議会議員選挙では投票率のよいところと悪いところで21%もの差がでてくる。今後も投票率を高める努力をしていく。

### 新エネルギー対策は

#### 質問

住宅用太陽光発電システムを設置する際、五戸町単独で補助をする予算が計上されているが詳細は。

#### 三浦町長答弁

五戸町にみずから居住または居住する予定の住宅に太陽光発電システムを新規に設置する方、または設備付新築住宅を購入する方が対象。補助金の額は、1キロワット当たり4万円、上限4キロワットまで、限度額16万円。24年度受付件数は25件。ただし、数件程度の増は補正予算で対応したい。



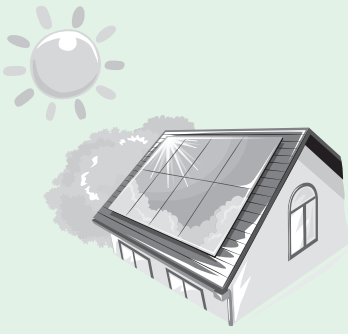
町では、持続可能な循環型社会の形成を促進するために、住宅用太陽光発電システムを導入する方に補助金を交付します。

### 住宅用太陽光発電システム導入支援についての注意事項

- ・電力事業者と電力供給に関する契約を締結する方
- ・町税等に滞納のない方
- ・交付決定前に工事着手したもののや、既設・中古の設備は補助金の対象になりません

・申請等は補助対象システムの販売業者へ手続きの代行を依頼できます

(詳細は企画振興課へお問い合わせください)



## 地産地消について

### 質問

学校給食センターでの地場農産物(五戸町産、青森県産)の使用割合は。過去の実績も。

### 高橋教育長答弁

五戸町産の使用割合は、平成19年度から21年度まではおおむね15%、平成22年度は13%台、平成23年度は15%を超える見込み。五戸町産の主なものは、米、長芋、ゴボウ、大根、長ネギ、白菜など。

青森県産の割合は、平成19年度から21年度までは60%弱、平成22年度は65%、平成23年度は70%を超える見込み。青森県産の主なもの、ニンジン、ゴボウ、ホウレンソウ、キャベツ、牛乳、肉類など。今後も町内の生産団体と連携し、積極的に地元産の農産物使用に努める。



## 町議会の活性化について

### 質問

地域住民にわかりやすい議会運営を推進するため、議会報告会の開催やケーブルテレビでの議会中継など、住民の皆さまから要求されているが、町議会で準備が整った場合、理事者として町長は協力できるか。

### 三浦町長答弁

議会報告会は有意義なことであり、協力は惜しまない。議会中継は今後中継の形態や放送機器など協議し、予算措置を考える。



## 尾形 裕之 議員



## コミュニティバスの計画は

### 質問

- ①具体的な内容、計画は。
- ②スポーツ少年団もコミュニティバスで対応できるのか。

### 三浦町長答弁

①確定した計画ではないが、各課で行っているバス関連事業を一元化し、町内全域を1乗車百円程度の運賃にするとともに、中学生以下は無料で乗車できるものとした。

また、交通空白地帯となっていた地域にもバス路線の新設を行いたい。  
②スポーツ少年団活動の利用時間と運行時間がマッチン

グするのであれば活用できるものと考えます。



## ひばり野公園の除雪を

### 質問

マラソン・ウォーキングコースはなぜ除雪しないのか。

### 高橋教育長答弁

ひばり野公園は、例年、冬期間の12月から3月までは電気、水道を停止しており、すべて閉鎖するという考えで除雪は行っていない。

また、町の除雪機械等はライフラインの確保のため、手が回らない状況であり、経費の問題もあるので当面は現行の管理と考える。

## 診断書を早くできないか

### 質問

- ①五戸総合病院ではなぜ診断書に1カ月もかかるのか。
- ②五戸総合病院の売店はなぜ民間にするのか。また、互助会との関係は。

### 三浦町長答弁

- ①診断書は主治医が直接記入するため、医師は治療を第一に優先するので、診断書の作成がおくれる状態にある。しかし、昨年度から担当医師と事務局で改善を図り、短縮できるよう努力している。今後も工夫を重ねていきたい。
- ②売店は病院が直接営業してきたが、病院経営の経費節減等検討した結果、今後は民営化を図ることとなった。病院職員互助会での運営は、当互助会が対応し切れないこと、他の公立病院での失敗例もあり、検討外とした。



リニューアルした病院の売店

## 役場職員の採用について

### 質問

- ①60歳定年制を町ではどう考えているのか。

また、来年度の新採用予定人数は。

- ②保健師の人数は増えたのか。

### 三浦町長答弁

- ①町では再任用制度を導入しており、この制度の拡充を図り、定年退職者等の希望者全員が共済年金の支給開始年齢まで継続して働けるよう対応策を検討する。

## 小渡総務課長答弁

- ①平成24年4月1日付新採用者は5人。
- ②保健師は、6人。平成22年9月定例会で要請を受けた時と人員は変わっていない。今後も保健師の増員について検討するが、容易でないこともご理解願いたい。

## 青年と語る会

### 質問

- 町長と語る会を20代の青年と語る会に変えてはどうか。
- また、農業後継者との語る会はどうか。

### 三浦町長答弁

- 町長と地域住民との懇話会については、当初のねらいである将来のまちづくりに向けた住民からの提案が少なくなっており、参加メンバーも固定化するとともに減少してきたことから、平成24年度は中止の予定である。
- 20代の農業後継者との語る会は今後検討したい。

## 固定資産税について

### 質問

- 評価替えによる課税標準額の下落は予測していたのか。

### 坂本税務課長答弁

- 土地の評価額は景気の状態によって変化するので、最近の状況から評価替えをすることにより、3年前の課税標準額より下落することは予測されていた。

## 川村浩昭 議員



## 五戸町の生活保護について

### 質問

- ①生活保護に値するための審査基準は。

- ②保護の内容は何を基準に金額を決めているのか。
- ③生活に困っている低年金受給者に対する保護の考えは。

### 三浦町長答弁

- 五戸町における生活保護の申請受付、保護の決定などは三八地域県民局（三戸地方福祉事務所）が行う。ただし、申請にかかわる相談等は町でも受け付けている。

### 竹原福祉保健課長答弁

- 生活保護の申請はあくまでも本人の意思によるもの。
- 資産（自動車・居住用以外の遊休資産等）の保有がある場合、保護を受けられない場合もある。
- 福祉事務所の専門職員（ケースワーカー）が調査する。



# 平成24年度 予算審査

平成24年度予算について、議員全員で構成する「予算特別委員会」を設置し、委員長に根森隆雄議員、副委員長に高山浩司議員を互選、平成24年度の一般会計・8特別会計・病院事業会計予算について、3月14日から16日までの3日間審査しました。

（委員会では議員のことを「委員」と呼びます。）

## 主な 質疑

質問の一部を抜粋・要約しています。

### 町債の増額根拠は

**問** 尾形裕之委員

町債が前年度より10億円多いが。

**答** 小渡総務課長

23年度と24年度の当初予算の比較で10億4900万円余り多い、率で11・8%の伸びとなっている。主な増額は、五戸小学校改築10億6千万円、強い農業づくり交付金4億3200万円となっている。

### 青年就農給付金とは

**問** 三浦專治郎委員

歳入で青年就農給付金6百万円とあるが、この内容は。

**答** 倉橋農林課長

24年度からの新規事業で、国庫10割補助となっている。

### 青年就農給付金の主な内容

新たに農業を始める人を対象とするもので、農業者の高齢化の解消、青年の就業意欲の喚起と就農後の定着を図るため、町地域農業マスタープランに位置付けられている、原則45歳未満、経営が不安定な就農直後の最長5年間に限り年間150万円を給付する。

給付は年2回75万円ずつ支給する。

ただし、町が適切な就農をしていないと判断した場合、合は打ち切ることができ。また、年間総所得250万円を上回った場合給付しない。

支給後に廃業した場合、未経過月数は返還してもらう。（詳細は農林課へお問い合わせください。）

### 安全安心住宅リフォーム促進支援事業補助金とは

**問** 高山浩司委員

歳入で安全安心住宅リフォーム促進支援事業補助金120万円の内容は。

**答** 山部建設課長

県では良質な住宅、住宅の耐震化、省エネ化、バリアフリー化を推進しており、24年4月からこの事業を実施し、国費が5/10、県費5/10で実施。

**問** 大久保均委員

安全安心住宅リフォーム

促進支援事業は24年度から市町村を窓口を実施するようだが、今後のPR方法は。

**答** 山部建設課長

6月頃から申請受付を予定。町広報・五戸町ホームページ・五戸町ケーブルテレビを利用してPRする。

### 除雪対策について

**問** 大沢博委員

出動は誰が指示しているのか。大雪警報が出ているのに判断が甘かったのではないのか。20cm以上積もっているのに一度も除雪に来なかった。

**答** 山部建設課長

10cm以上の降雪で出動する体制をとっている。建設課職員でパトロール班を編成し、現地確認しながら委託業者に指示を出している。今回は一度に大量に降ってしまったため路幅を確保することが出来ず地域の方々にご迷惑をかけてしまった。

### パソコンの購入先は

**問** 若宮佳一委員

パソコンの購入はどこに何台くらいを予定しているのか。

**答** 小村教育課長

教育用のパソコンとして、三中学校の更新を予定している。五戸中学校40台、川内中学校40台、倉石中学校30台を予定。

**問** 尾形裕之委員

更新される古いパソコンはどうなるのか。

**答** 小村教育課長

業者へ引き取ってもらう予定。

**問** 尾形裕之委員

公民館講座で使用したいという話もあるので、確認して適切に処理していただきたい。





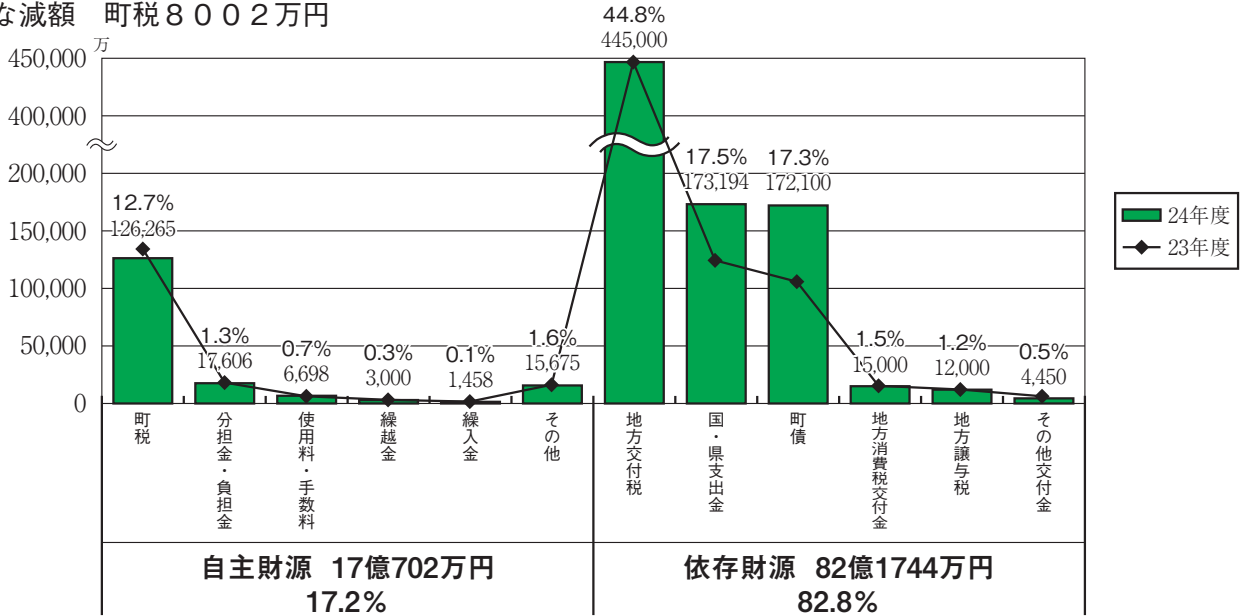
# 平成24年度当初予算

一般会計予算は、99億2446万3千円  
前年度に比べ10億4958万6千円（11.8%）の増

## 歳入

主な増額 町債6億6390万円、国・県支出金4億8979万円

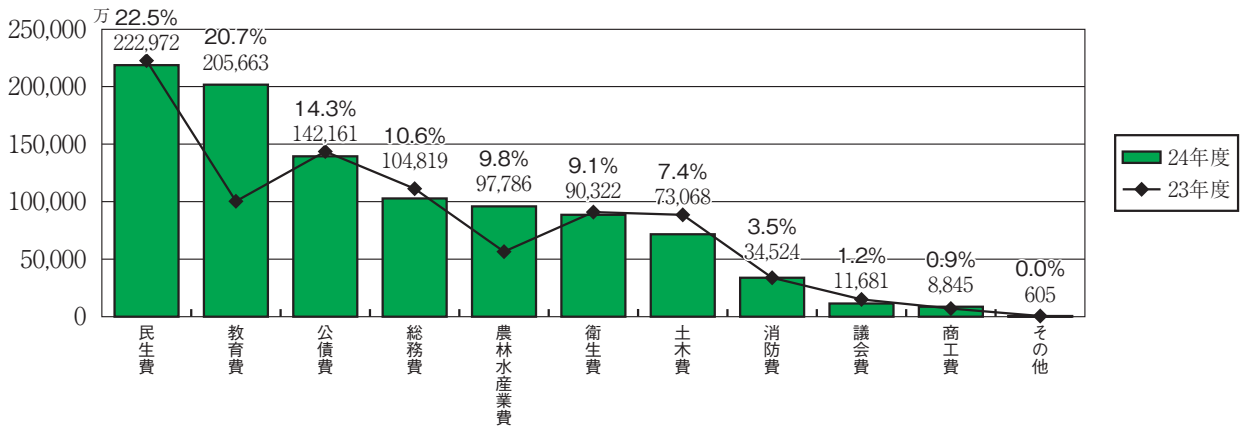
主な減額 町税8002万円



## 歳出

主な増額 教育費10億3359万円、農林水産業費4億136万円

主な減額 土木費1億7221万円、総務費8646万円



会計名	予算額	前年度比
後期高齢者医療特別会計	4億809万2千円	△1.6%
国民健康保険特別会計	24億1581万円	△0.7%
介護保険特別会計	20億8434万1千円	1.5%
下水道事業特別会計	4億4797万9千円	△4.36%
農業集落排水処理施設事業特別会計	1億1642万8千円	5.5%
簡易水道事業特別会計	9451万8千円	△2.6%
住宅用地造成事業等特別会計	2512万4千円	0.0%
ケーブルテレビ事業特別会計	2227万6千円	86.9%

病院事業会計		
収益的收入	26億4928万3千円	0.4%
収益の支出	28億8756万7千円	△3.0%
資本的收入	2億330万7千円	△21.4%
資本の支出	3億250万2千円	△15.9%



## 第34回定例会

## 平成23年12月定例会

### 倉石温泉・社会福祉

### センター入浴料の

### 改正

12月定例会は、12月8日から13日までの6日間の会期で開催しました。

町長から、条例4件、補正予算9件、人事案件1件、その他規約の変更等4件、議会から1件の案件が提出され、それぞれ原案のとおり可決されました。

### 町長提出案件

#### ●倉石温泉条例の一部改正

賛成18

反対3

倉石地区に住所を有する65歳以上の町民の入浴料を150円に変更。



五戸町社会福祉センター



倉石温泉

#### ●社会福祉センター条例の一部改正

賛成17

反対4

五戸町のうち倉石地区以外に住所を有する65歳以上の町民の入浴料を150円に変更。

### 討論

【反対】川村 浩昭 議員



入浴料金を改定するのであれば、この際、五戸町に在住する人たちすべてを同じにするべきだと考えます。よって、旧倉石村と旧五戸町の差を解除して1つの料金にするべきだと思いますので、反対するものであります。

【賛成】尾形 裕之 議員



社会福祉センターの場合は、社会福祉協議会の中で補われており、倉石温泉の場合は指定管理者制度でございます。

これを一律とした場合、倉石温泉のほうに赤字になってしまうと、指定管理者へ町から負担を出さなければなりません。そういうことを考えますと、現行どおりがよろしかと思います。将来はそうなる可能性もございますが、今のところは、賛成といたします。

#### ●青森県市町村総合事務組合

を組織する地方公共団体数の増加及び組合規約の変更

全員賛成

構成団体に弘前市を加入。共同処理する事務のうち市町村税等の滞納整理事務に弘前市・黒石市・五所川原市・三沢市を加える。

#### ●八戸圏域水道企業団の共同処理する事務の変更及び規約の変更

全員賛成

企業団の共同処理する事務のうち八戸圏域島守地区簡易水道事業の経営に関する事務を廃止。

#### ●定住自立圏形成協定の変更

全員賛成

「障がい者福祉の充実」に関する項目を追加。

「安全・安心なまちづくり」に関する項目の一部変更。

#### ●財産の取得

全員賛成

五戸畜産農業協同組合と畜産担い手育成総合整備事業に係る採草地用地(岡谷地)の土地売買契約。

●特別職の職員で非常勤のもの  
の報酬及び費用弁償に関する  
条例の一部改正

全員賛成

スポーツ基本法の施行により  
「体育指導委員」を「スポーツ  
推進委員」に変更。

●五戸町県営土地改良事業の  
経費の賦課徴収に関する  
条例の一部改正

全員賛成

受益者が法人の組合員である  
ときは、その法人から分担  
金を徴収することができる。

●平成23年度特別会計補正  
予算

全員賛成

各会計の補正額及び主な  
歳出の内容

後期高齢者医療特別会計

189万円増額

・後期高齢者医療支援シス  
テム改修業務委託料

国民健康保険特別会計

1億2947万6千円増額

・一般被保険者療養給付費  
ほか

介護保険特別会計

5006万6千円増額

・居宅介護サービス給付費  
ほか

下水道事業特別会計

46万5千円増額

・水道施設等移設補償費  
ほか

農業集落排水処理施設事業  
特別会計

382万8千円減額

・又重地区農業集落排水処  
理施設管路移設工事費ほか

・保育所運営費  
3328万円増額  
・避難所非常用発電装置  
設置工事費  
1560万円増額

簡易水道事業特別会計

378万4千円減額

・国道太田地区排水管路移設  
工事費ほか

住宅用地造成事業等特別会計

492万2千円増額

・造成補完工事費ほか

●平成23年度病院事業会計補  
正予算

全員賛成

収入

9980万4千円増額

主な内容  
・一般会計からの繰入金ほか

支出

1442万円増額

主な内容  
・中央監視装置更新ほか

人事

●教育委員会委員の任命

同意



竹内 良雄氏

五戸町字新町22番地1  
主な職歴  
(有)たけうち 取締役  
五戸町商工会 専務理事  
五戸町国際交流協会 顧問  
五戸町教育委員会 委員長  
三戸郡教育振興会 会長

陳情

件数 3件

全て民生常任委員会へ付託

●国保国庫負担率の大幅引上  
げ等の意見書を求める陳情  
閉会中の継続審査

●高齢者医療制度等に関する  
意見書提出を求める陳情  
閉会中の継続審査

●介護保険制度に関する意見  
書提出を求める陳情  
閉会中の継続審査

閉会中の継続審査とは  
委員会に付託された陳  
情の審査が終了しなかつ  
た(結論が出なかった)  
ため、議会の閉会中に引  
き続き審査を行うこと。

議員提出案件

●議会委員会条例の一部改正

全員賛成

このへ議会だより編集委員  
会を廃止し、広報常任委員会  
を新設。



# 平成23年12月定例会

## 一般質問

### 赤坂悦子議員



### 中学校に女子サッカー部創設を

#### 質問

小学生の女子サッカー選手たちの要望として、中学校でもサッカーを続けたい、女子サッカー部が欲しいという声が高まっている。サッカーのまち五戸町として、中学校へ女子サッカー部の創設ができないか。

#### 高橋教育長答弁

現在、五戸町の中学校に女子サッカー部はない。また、青森県内の中学校で女子サッ

カー部を持っているところはない。したがって、女子サッカー部を創設しても中学校体育大会では対戦相手がないことになる。

中学校でサッカーをやるための対応として、男子と一緒に練習をする。あるいは、五戸町スポーツクラブに加入することが考えられる。

もし、たくさんの入部希望があれば、また対応を考えていく。



### がん検診受診率向上の対策は

#### 質問

五戸町のがん検診受診率は項目によっては県内最下位の受診率のものもあるが、受診率を高めるための考えは。

#### 二浦町長答弁

町では五戸町健診センターで受診した方々のみを計上し、ほかの健診施設で受診した方

は把握できないため、低い数値となっている。

がん検診の受診率の向上を図るため、毎年、五戸町健康診査等のお知らせを作成し全戸に配布し、保健協力員に取りまとめもお願いしている。

また、21年度から新しい受診者をふやすため、無料で受けられる対象の方に検診無料クーポン券を送付し、さらに、毎年継続して受診していただくために、関係各課が連携し啓発活動を実施している。

### 高齢者の肺炎球菌ワクチン接種に助成を

#### 質問

高齢者の生命を守るためにも、肺炎球菌ワクチンの助成についての考えは。

#### 二浦町長答弁

高齢者の肺炎球菌ワクチンは任意の予防接種で、行政が勧奨しているものではないが、青森県内で18市町が接種費用の一部を助成している。高齢者の肺炎球菌ワクチンの接種

費用は、各医療機関で相違があり、五戸総合病院では8200円と高額になっている。今後、医療機関と協議の上、各種制度を活用して接種費用の一部助成ができるよう検討していく。

なのか。

#### 三浦町長答弁

五戸町では、農事組合法人くらいしが6次産業化の認定を受けている。

### 中川原賢治議員



### 農林業の振興政策は

#### 質問

地域資源を活用した農林漁業者による新事業の創出等及び地域の農林水産物の利用促進に関する法律、いわゆる、6次産業化法の施行に伴い、当町の基幹産業である農林業を振興させるために、町長はこの制度をどのように活用し町の活性化につなげるつもり

五戸町における活用は、倉石地域振興公社を中心とする特産品開発や製品開発、五戸町商工会が、これまでばらばらに活動、機能していた農工商活動を、業種の枠を超えて相互専門知識と情報を促すことで、新しいビジネスモデル、商品開発につながるコーディネートターの育成を創出することを目的に、研修会等を実施している。

また、商工会では、地域にかかわる農業、商業、工業関係者はもちろん、どなたでも入会できる五戸農工商連携同友会を組織し活動しており、これらの活動を生かすとともに、農林漁業者と商工業者が通常の商取引関係を越えて協力し、お互いの強みを生かして売れる新商品、新サービスの開発、生産等を行い、需要の開拓を行うことが必要であると考えており、町としても、



できる限りの支援、協力をし  
ていく。

## 根 森 隆 雄 議員



## 熊ノ沢住宅跡地利用は

### 質問

近年高齢化が進み、まだ介護施設に入るほどではないけれど、体力が落ちて除雪ができない、買いた物が困難、安全に対する不安等の理由で、集団住居のニーズが高まっている。そこで、高齢者専用の集団住宅を建設するということを条件につけた上で民間に売却、または貸与してはいかがか。立地条件も最適だと思ふ。

### 三浦町長答弁

町営住宅熊ノ沢団地跡地利

用については、いろいろな要望や提案が寄せられると思うので、自治会等の意見や要望を集約し、民間に売却、または貸与など根森議員の提案も含めて検討させていただきたい。



熊ノ沢団地跡地

## 尾 形 裕 之 議員



## 次のまちづくり計画は

### 質問

①倉石村と合併し7年が過ぎ、

合併まちづくり計画の33主要プロジェクト中32が達成

され、町長の公約どおり総仕上げの時期となった。しかし、この時期は総仕上げというより、次のまちづくり計画を考えるべきと思うが、  
②図書館の中のYS-11ブースをもっと学校教育に活用すべきではないか。  
③図書館内で行っていた歯科医によるセミナーはなぜやめたのか。  
④五戸総合病院は、現在も経営改善に取り組んでいるが、その途中経過をお知らせいただきたい。

### 三浦町長答弁

①現在の新五戸町総合振興計画は、平成17年度から26年度までの10カ年を計画期間として策定してある。

今後の計画の見直しは、国・県の補助事業、交付金事業もあり、広域的な連携事業は、実施に向けて関係機関と十分検討していかなければならぬ。また、直接町民にかかわる事業計画も住民との協働によるまちづくりを基本とし、緊急度や効率性を十分精査した上

で、平成26年度中の計画策定に向けて計画的な事業の推進を図っていききたい。  
④五戸総合病院の10月までの経営状況について、患者数は前年度と比較して入院・外来とも増加している。ただし、外来患者数は東日本大震災の影響により、薬の長期投与が一時的に不可能となったことによるものである。

また、平日の午後の専門外来を始めた外科や小児科の夕方診療の実施など、各医師の経営に対する意識の向上が図られてきた。さらに、大学等からの派遣医師との連携もスムーズに行われ、産婦人科を初め1人体制の小児科、脳神経外科、整形外科の常勤医の存在を生かし、幅の広い医療の提供が継続できているものと考えている。

### 高橋教育長答弁

②YS-11の生みの親である木村秀政博士の功績をたたえ、生い立ちや功績を知ることができるとな

っている。

町民はもとより、町を訪れた方々に、博士の功績を直接目で見て、あるいは体験を通して学ぶことができることから、貴重な機会になると思う。また、図書館に足を運ばなくても、この博士の偉業を子供たちに伝えていくということは大切なことであると考えているので、今後とも各学校には、この活用の指導をしていく。

③図書館内で行っていた歯科医によるセミナーは教育委員会ではなく、三戸郡歯科医師会による活動であり、医師会による活動であり、当時、郡歯科医師会の会長を五戸町の先生が担当したときに、歯の衛生週間に合わせてボランティアで実施し、図書館で場所を提供した。



YS-11の生みの親 木村秀政ホール



## 若宮佳一議員



### 三浦町長のマニフェストについて

#### 質問

①五戸町独自のコミュニティバス計画の概要は。

②農業の保護・再生といわれているが、具体的な施策は。

#### 三浦町長答弁

①現在、町役場課長で組織する協議会を設置し、検討に入っている。町が運営主体となり平成25年4月1日の運行をめざし、スクールバス、患者送迎バス、通勤、買い物など一元化して運行させる。

②生産構造の確立や工場のため集落営農組織の拡大に努め、効率アップを図りたい。

そのために、積極的な指導をしていく。

#### 集落営農組織とは

集落を単位として生産工程の全部または一部について共同で取り組む組織

### 国・県の原子力政策について

#### 質問

六ヶ所村の核燃料再処理施設の今後の扱いについて、日本原燃側の態度について感想を。

#### 三浦町長答弁

原子力エネルギーについて、100%の安全はありえない。根本から見直す必要があるとはいえ、30〜50年後に向けて段階的に縮小し、いずれ廃止していくのが望ましいと考えられる。長期的には太陽光、水力、風力など自然エネルギーに変わるのが望ましいが、膨大な予算が必要と思われる。現時点では、国が責任をもって取り組むべきだ。

## 川村浩昭議員



### 夢の森ハイランド盗難事件のその後は

#### 質問

夢の森ハイランドの盗難事件から既に2年になるうとしている。町民の中からいろいろな意見があり、夢の森ハイランドはどうなっているんだ、管理者としての責任がないのか、あるいは町民に対する説明がないのかという言葉が私たちが議員に投げかけられている。

公社は五戸町の100%の資本で営業されていることから、町長として、この町民の言葉をどう考えておられるのか。また、公社に対してどのように思っているのか。

#### 三浦町長答弁

平成21年12月13日発生した盗難事件も、発生後丸2年を迎えようとしており、その間、捜査当局に対し捜査状況について伺いするなどしているが、いまだ大きな進展がない状況で捜査が未解決のまま継続中である。

また、説明責任と言われても、倉石地域振興公社の最高責任者は社長である私であるが、五戸町議会の本会議場の場では、町長の立場でしか答弁できないことを御理解いただきたい。

なお、盗難金額相当分の運転資金235万5千円の補助金は、仮に事件が解決し、盗難金額が全額回収された場合、返納してもらう。

### 上市川団地の販売状況は

#### 質問

町長は計画を発表した当時、自分の初めての政策である、絶対成功させなければならぬと言いつつ切っていたが、現在の団地の販売区画数及び

建築戸数の進捗状況について。また、その後の販売見込みは。

#### 三浦町長答弁

上市川団地の現在の販売状況は、48区画のうち17区画を売却し、住宅建設が完了している。さらに、3件の予約申し込みに加え、3区画についての問い合わせがあり、この6区画についても契約できるよう努力する。

厳しい経済情勢を反映して、売却が思うように進んでいないが、事務事業評価による改善計画を実施し、平成23年4月1日から五戸町宅地分譲販売促進奨励金交付金要綱を制定し販売を行っており、若干ながら効果はあらわれてきている。引き続きPR活動を行い、完売に尽力する。



上市川団地

## 鳥谷部 富子 議員



### 資料館の設置を

#### 質問

8年前、古文書、土器類は分散保管され、倉石の薬師前遺跡は、八戸の博物館に保管していると聞いている。

せつかくの歴史の品がいろんなところに分散して箱の中で眠っているというのはいらないので、小学校の統廃合により、耐震上大丈夫な施設等を検討し、資料館の設置を前向きに考えてほしい。

また、台帳の整理はできたのか。この中には、五戸ばかりもあり、平成14年、県の食と農の文化伝承財認定普及事業の中の農にまつわる工芸品18品目の中に認定を受けたものである。

#### 三浦町長答弁

現在、五戸町立学校廃校校舎等の利活用について、関係課長で組織する検討委員会を設置しており、保管場所がないために貴重な民俗資料が点在し、管理上の問題から価値がなくなっている資料もあるなど、一日も早く点在している民俗資料を集約し、資料館的役割を果たす施設への利活用についても検討している。

#### 小村教育課長答弁

台帳の整理については、五戸町にはたくさん民俗資料や古文書があり、最近、南部鉄道からの資料もいただいております、それらも含めて、現在進行中でまだ完了していない。

### 洋式トイレの増設を

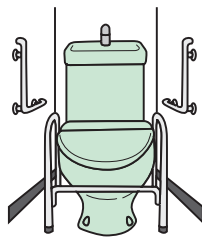
#### 質問

腰痛やケガなど必ずしも障がい者でなくても和式トイレでは不便を感じている人も多い。公民館のように不特定多数の人が集まる場所は増設してほしい。

また、既存の洋式トイレに手すりを設置できないか。

#### 三浦町長答弁

各公共施設の身障者用洋式トイレの増設要望と受けているが、身障者用トイレは、一般的に車いすでも利用できるトイレで、一般用のトイレよりスペースを広くとる必要がある、かなりの費用を要するとともに、場所の確保なども問題あるので、今後、財政状況を見きわめながら、また、各公共施設の利用状況等を踏まえながら検討してまいりたい。



## 高山 浩司 議員



### 五戸町の農業政策は

#### 質問

①日本の農業は産業として40年間で「1%産業」になってしまい、農業就業人口は1200万人から252万人へと5分の1に減っており、農業を守り、40%といわれる日本の食料自給率を上げることが必要であると思われる。衰退してきているとはいえず、五戸町も農業の町である。農業政策に対する来年度予算編成の中で、重要視している政策は何か。

②農地は食料を生産するだけでなく、景観・環境を守る役割も果たしている。また、一旦耕作放棄地になってしまつと、再利用する為にはかなりの費用、人手、時間がかかる。今後農地を守るには、ある程度の大規模化が必要であると思われるが、農地の集積の状況はどのようになっているのか。

#### 三浦町長答弁

①農業従事者の高齢化、若い担い手不足、耕作放棄地の増加等への対応策として、集落営農への取り組みが一番であると考えている。平成24年度中に県の支援を受けながら、集落営農推進対策本部を町に設置し、実現に向けて取り組む予定である。

#### 三浦農業委員会会長答弁

②国の政策としては、農業者では面積で4ヘクタール以上、農業法人としては面積で200ヘクタール以上が目標である。町でも国の基準で農業経営基盤の強化の推進に関する基本構想を定め、規模拡大を図り、担い手農家の育成を積極的に推進している。利用面積としては、21年度は64件の41・3ヘクタール、22年度は205件の73・3ヘクタールとなっている。



## 第33回臨時会

### 職員給料月額減額改定 人件費に係る補正

平成23年11月24日臨時会が開かれました。

### ●職員給与に関する条例の改正

賛成20  
反対1  
青森県人事委員会の勧告に準じて、職員の給料月額を減額。

### 討論

赤坂悦子議員が反対討論、鈴木繁盛議員が賛成討論を行いました。

### ●平成23年度一般会計・特別会計補正予算

賛成20  
反対1  
4月の人事異動及び青森県人事委員会の勧告に伴う、職員の給料・手当等の人件費に係る補正。

一般会計

9328万8千円減額

後期高齢者医療特別会計

36万3千円増額

国民健康保険特別会計

231万2千円減額

介護保険特別会計

890万5千円減額

下水道事業特別会計

1068万円減額

簡易水道事業特別会計

7万3千円減額

## 第35回臨時会

平成24年1月16日に臨時会が開かれました。

臨時会では、台風15号により被災した農地・農業用施設の災害復旧事業を町が事業主体となり行うための議案と平成23年度一般会計補正予算を審議し、原案どおり可決しました。

一般会計補正予算の内容は、農業用施設災害復旧工事費1351万6千円を減額するものです。

## 常任委員会 活動報告

### 各常任委員会の所管事務調査

#### 総務常任委員会

平成23年10月28日

① 蛸川小 ② 倉石中 ③ 南小 ④ 豊間内小 ⑤ 五戸中 ⑥ 五戸小 ⑦ サツカー場の現地状況調査。



教育委員会及び各学校職員から現地で状況等の説明を受ける。

#### 経済常任委員会

平成23年10月21日

① 畜産担い手育成総合整備事業(ブドロク放牧場) ② 県営五戸地区戦略作物生産拡大関連基盤緊急整備事業 ③ 農地整備事業(基幹農道整備・保全対策型 五戸北部地区) ④ 農地整備事業(一般農道整備・保全対策型 池ノ堂地区) ⑤

上市川団地⑥道路維持修繕について、現地状況調査。



農林課及び建設課担当者等から現地で状況等の説明を受ける。

#### 民生常任委員会

平成23年10月13日

五戸総合病院の現地状況調査。蝦名院長、荒屋敷総看護師長、前田事務局長及び担当職員等から、総合病院の運営・管理状況等及び看護師の対応・改善状況について説明を受け、院内を視察。



病院担当者等から状況等の説明を受ける。

## 自治功労者表彰

全国町村議会議長会から3名、青森県町村議会議長会から6名が表彰されました。

### 全国町村議会議長会表彰

議員在職27年以上

三浦俊哉氏

議員在職15年以上

三浦專治郎氏  
松坂俊司氏

### 青森県町村議会議長会表彰

議員在職19年以上

中里公志郎氏

中川原賢治氏

議員在職11年以上

川村浩昭氏

沢田良一氏

鳥谷富子氏

大沢義之氏



# 議会傍聴者アンケート結果

平成23年12月定例会・平成24年3月定例会でアンケートにご回答いただきましたなかから、五戸町議会・議会広報についてのご意見などの一部をご紹介します。

## 五戸町議会について

- ◎傍聴者が少ないのもっと増えるよう広報でも引き続き呼びかけてほしい。
- ◎議会を傍聴しましたが、私の考えた事より長くかかったのびびっくりしました。議員の方、答弁をした方々、熱くやりとりをしていた事を見て納得しました。とても勉強になりました。
- ◎五戸町の住民となって8年、まだまだ町の事がわからないですが、議会傍聴をして町が抱えている問題等知る事が出来ました。議員さんもガンバッている事を知りました。これから何をすべきか、考えなければならぬ事がたくさんある事も知ることが出来ました。
- ◎積極的に質問されるよう、議員の方々に望みます。(一般質問が4名は少ない。)
- ◎1人当たりの時間制約がないのはよいが、もう少し端的に答弁も再質問もしてほしい。

平成23年12月定例会



議会から：声が聞き取りにくいとのご意見が複数ありました。

マイク・スピーカーの一部が劣化しており、大変ご迷惑をおかけしております。

町では、ケーブルテレビでの議会中継も考慮しながら、設備の更新を検討中です。

## 議会広報「ごのへ議会だより」について

- ◎広報は質疑応答の内容がわかりやすく、今後とも期待しています。
- ◎議会広報の継続的発行を希望します。  
今まで各議員で議会だよりを発行している方はごく少数だったため、何を活動しているのか不明点が多く、議会傍聴はできるだけしたいと思っておりますが、毎回傍聴できないので議会だよりは助かります。

平成24年3月定例会



ご協力いただいた皆様には、貴重なご意見をいただき、感謝申し上げます。今後とも、ご近所やお友達などお誘いあわせの上、傍聴においでくださいますようお願いしております。

## 編集後記

町議会議員選挙後、3月2日に新しい広報常任委員会のメンバーが決まりました。今号は新メンバーでの作成ということでは慣れないため、思うようにはいきませんでした。今後改善を重ねより良い議会広報を作っていくしたいと思います。

今までよく「議員は何をやっているのか」という声を聞きましたが、開かれた議会を目指し広報常任委員一丸となって取り組んでいきます。

また、町民の皆さまに議会を傍聴していただくことにより議員を鍛える効果もありますので、ぜひ傍聴に来ていただきたいと思えます。

なお、議会広報に関するご意見もよろしく願います。

委員長 根森 隆雄

## 議会を傍聴しませんか？

6月定例会は6月上旬開催予定です。  
詳しい日程は、五戸町議会事務局(62-2111)までお問い合わせください。  
日程が決まりましたら「五戸ちゃんねる」「五戸町ホームページ」でもお知らせいたします。

8月 次回の広報は平成24年8月に発行予定です。

## 広報常任委員会

委員長	根森 隆雄
副委員長	高山 浩司
委員	大久保 均
委員	鈴木 繁盛
委員	若宮 一
委員	田宮 一
委員	三浦 良一
委員	三浦 専治